

## 今月の PICK UP

『ヨルダンの本屋に住んでみた』 フウ／著 産業編集センター [292.7]



小学校時代、図書館で留学記を読み漁り、海外生活に憧れを抱いていた著者。22歳の時、偶然ネットで見つけたヨルダンの本屋に心奪われ、「一ヶ月ほど働きながら泊まらせてもらえませんか。」とメールで店長に直訴。念願叶い本屋に住めることになりました。最初の仕事、本の仕分け業務では、何語の本かわからずギブアップ、接客でも戸惑い失敗もしますが、店長や同僚たち、特に相部屋で同じ年のイタリア人・ラウラに励まされ、仕事、地元の人との交流、人生初のヒッチハイクなど、一ヶ月間と思えないほど充実した日々を送ります。店内や街並みなど写真も豊富、何よりバイタリティ溢れる著者的人柄がとても魅力的で、笑いあり涙ありの滞在記です。



『かずをはぐくむ』 森田 真生／著 福音館書店 [914.6モ]

本書は、数学を専門とする研究者の著者が、子育ての日々の中で、わが子が何気ない体験や気づきを通して数に親しんでいく姿をまとめたエッセイです。おやつを分けたり、生物を観察したり、家までの道を数えながら歩いたりすることで、「数」や「時間」「距離」のイメージが、自然に子どもたちの中に広がっていく様子が記されています。また、子どもたちの純粋な疑問や小さな驚きを大切にする父親としての愛情ややさしさにも気づかされる1冊です。

### 司書の おすすめ



『自家製はエンタメだ。』 浜竹 瞳子／著 サンクチュアリ出版 [596ハ]



味噌やソースなどの調味料、燻製、一夜干し、豆腐に漬物、小麦粉で作るあれこれなど、その道のプロに教わり、自宅で実践した自家製食品の作り方がフルカラーのイラストで紹介されています。人は食べなきゃ生きていけない、ならば作るところから楽しんてしまおう。そんな気持ちがページの端々から伝わってきます。

『獣医さんがゆく』 浅川 満彦／著 東京大学出版会 [649ア]



獣医さんは、あらゆる動物の健康を守っています。ペットの動物や牛馬のような家畜、野生の動物、そしてヒトの健康も。意外と知られていない獣医さんの実際を、獣医学の教員である著者が詳しく紹介しています。最近の感染症対策には「ヒトと動物が同じ目線に立ってみることで、全ての生き物の健康が実践される」という考え方が大切のこと。この理念に沿って奮闘する獣医さんの姿がこの本でよくわかります。



『出版中止!』 宮崎 伸治／著 小学館 [801.7ミ]



ベストセラーとなった『7つの習慣』をはじめ数多の訳書を出版してきた翻訳家が、本来あってはならないはずの出版中止を経験すること7度。本書は、それらの地獄に対峙してきた経験が軽妙洒脱に語られています。時に印税回収のために私製ハガキを持って出版社を訪れ、慰謝料回収のために探偵を雇い、更には本人訴訟をするために40代で法学部に入学した著者。その行動力には驚かされるばかりです。